

# THE ROTARY CLUB OF NAGOYA-CHIKUSA



## WEEKLY

# なごや ちくさ

題字 黒野清宇

名古屋千種ロータリークラブ  
 承認 1982年 8月24日  
 例会日 火曜日 12:30  
 例会場 愛知厚生年金会館  
 事務局 TEL763-5110 FAX763-5121  
 会長 小坂井 盛朗  
 幹事 舎人 経昭  
 会報・雑誌委員長 伊藤 健文

No.14

## 手を貸そう

## Lend a Hand

2003~2004年度 RI会長 ジョナサン・B・マジアベ

### きょうの例会

第1016回 平成15年10月28日(火)

友愛の日

### 先週の記録

第1015回 平成15年10月21日(火)

曇り

#### ◆“奉仕の理想”

#### ◆斉唱 “四つのテスト”

#### ◆出席報告

会員	67(60)名	出席	49名
出席率	81.67%		
前々回	10月7日(修正出席率)		90%

#### ◆ゲスト紹介

愛知厚生年金会館	接客係	鳥谷 和弘氏
愛知厚生年金会館	販売予約係	米田 悦司氏
(株)星が丘自動車学校	副校長	阿部 静馬氏
(株)星が丘モーターサービス	工場長	目崎 英明氏

### 舎人幹事報告

1. 本日例会終了後、理事役員会を開催致しますので理事役員の方は2階オーキートルームにお集まり下さい。
2. 次回例会終了後、指名委員会を開催致しますので指名委員の方はお残り下さい。

#### ◆バナー紹介

山本 眞輔君

TORINO SUD RC.  
 ROMA SUD-EST RC.

### 加藤(重)新世代委員長よりお願い

お手元のウィークリーに掲載しておりますが、11月1日(土)名城公園内でチャリティーランにRACの方と参加しますので、是非皆様の応援をお願いします。

### 小坂井会長挨拶

#### 死神が舞う

食糧として配給された黒パンは一山を八つ位に切ったものが昼飯一人分であった。それが后には1/12になってしまった。一口食べて「何だこれは！こんな物が食えるか！」と皆が放り出した。そのパンは今日本で売っている黒パンとは大違い、中にフスマが入っている。フスマと云うのは麦ガラの事だ。それがパンの中に混ざっているのだから口の中にそれが残ってガサガサして、当時戦争中でも真白なパンしか知らない我々には何とも粗末なパンと云う感じしか無かったのである。

それが命綱になろうとは誰も予想する事が出来なかった。満州から自分達の持って来た私物の穀物が無くなり支給される物以外、口に出来るものが全く無くなってしまった時に我々は空腹を知った。その次には恐ろしい飢餓感が襲ってきた。

バカにして、こんな物食えるかと枕元に放り出した黒パンを探し出す。カチカチに干からびて嵩が随分と小さくなったものを、まるで宝物のように飯盒で水だきして潤かして食べた。何と美味しく感じた事か。

その頃から今の日本の日常にある人には全く想像不可能な状況が出現したのである。

朝食は飯盒の蓋すり切れ位の量のマゼ御飯と顔の写るようなお澄まし。

昼は前述の黒パン八分の一切一ヶ、待望の夜は飯盒の蓋に少し盛り上がる位のじゃがいものぶつ切りが入っているイモと米の御飯。時にはイモが多い時もある。

まず量、カロリー共じっとしていても不足なのだ。それで伐採作業を一人前にやるのだ。栄養が足る筈がない。当然の現象として不足分は体内の貯金がハキ出される。

目に見えて皆が痩せ細って来た。中に太った奴がいると思ったら何の事はない栄養失調でハれた奴だった。地獄が始まった！

ハラが空いた。皆の目が異様に光っている。飯上げの時(炊事場でご飯をオケに入れて貰って前後二人で天秤棒でオケを真中にして担いでくる)皆がそれぞれの棚に腹這になって飯盒の皿に盛り分けられるのを不公平な分配をされないかと目を皿のようにし

て見ている。皆がガキのような顔付きだ。いつか見た地獄絵が目に浮かぶ。いつもの光景だ。

ある時その静けさが破られた。ふらふらと一人の兵がその飯上げの桶に近寄ると手づかみでご飯を掴みほうばり出したのだ、いやほうばりながら逃げ出した。「何をするこいつ」罵声が飛び交い騒然とした。その兵はすぐ取り押えられ殴られながら口の廻りを米粒だらけにしながら嬉しそうな顔をしてまだ手にしたご飯を頬張ろうとしているのだ。後で聞いたら某学校の校長であった人だったそうだ。

嗚呼、衣食足りて礼節を知ると言うが飢えというのはかくも根性を失わせるものか、何とも哀しい事であった。誰でもそうしたい気持ちはあったのだが我慢をした。良い事と悪い事を区別できなければ人間でなくなってしまうと必死に堪えているのであった。

「帰りたい、帰りたい」と家族の話等をしている内は大丈夫だ。その前には女の話だ。どここの寿司がうまかったとか、芸者遊びの話とかだ。自分はその点何も知らない若者であったので、かえってつらさの感じ方は少なくて済んだようであったが贅沢を知り家族持ちであった人はそのつらさは我々の何倍ものものであったと思う。帰る話、国の話、家族の話、恋人の話そして食物の話。それが御飯の分配に気を使っている内は大丈夫、人は死なない、勿論病気は別だ。しかし、その内、口をきかなくなる。飯の分配にも無関心、何も喋らなくなると危険信号である。死神がもう取り付いているのであろう。

朝起床の合図にパッと起きれない。もぞもぞと、なるべくエネルギーを使わないようにして起きる。隣の戦友が起きてこない、そっと顔に手を当てると冷たい、手の脈を見る、止まっている、死んでしまったのだ。

感動はない、何故？ それは毎日のように人が死んでゆくからだ。そして次は自分かも知れないと皆が思っているからだろう。

「オーイ、一人逝ったぞ」

「よし降ろせ」

死んだ戦友の枕元に配られた、飯をよそった飯盒の蓋を下へ降ろす。と、

「残り何人だ」

「五人だ」

「そうか」

五分分にシャモジで筋をつけて差し上げながら

「分ける」

黙ってそれを受取り五分の一を自分の皿に取り次へ廻す。静寂だ。一人の兵が死んだのに人間が死んだのに皆何の感動もない。恐ろしい事である。廻りで死神が踊っている。だが見えない。しかしいる筈だ。黒い衣をまとった死神が。

だが、この死神を追い払う力が俺にはない。

#### ◆10月度理事役員会議題

1. 親睦活動（年末会員・家族懇親会）の件
2. 会費未納の件
3. 万博入場前売りの件

#### \*\*\*\*\* 優良従業員表彰 \*\*\*\*\*

##### ◆二村職業奉仕委員長

まず初めに、職場例会では沢山のご出席ありがとうございました。

本日は事業所から推薦を受けた従業員4名の方に、会長より表彰状と記念品をお渡しします。

被推薦者名	年齢	勤続年数	役職名	推薦事業所名
鳥谷 和弘	36	16	接客係	愛知厚生年金会館
米田 悦司	33	15	販売予約係	愛知厚生年金会館
阿部 静馬	63	39	副校長	(株)星ヶ丘 自動車学校
目崎 英明	55	34	工場長	(株)星ヶ丘 モーターサービス

(敬称略)

#### 受賞者挨拶

##### ◆愛知厚生年金会館 鳥谷 和弘様

本日は私のような若輩者に表彰頂きまして有難うございました。途中、配属が変わりましたが、皆様の担当をさせて頂き4年近くたち、お蔭様でロータリーソングは歌詞を見ずに歌えるようになりました。

これからも出来る限り尽力致しますので宜しくお願い致します。

##### ◆愛知厚生年金会館 米田 悦司様

本来はお客様としてお越し頂いていますので、こちらからお礼を申し上げなければいけない所ですが、このような賞を頂き有難うございます。私にとっては、IMや昨年末のお餅搗のお手伝いをさせて頂いたことが記憶に残っておりますが、今後も一生懸命勤めさせて頂きますので宜しくお願い致します。

##### ◆(株)星ヶ丘自動車学校 阿部 静馬様

日頃は何かと私共の学校がお世話になりありがとうございます。又、今日は素晴らしい賞を戴き本当に光栄です。私は昭和39年に指導員として入校してから間もなく40年を迎えます。星ヶ丘の街の移り変わりを色々見てきましたが、三越・星ヶ丘ポウル・学校・動植物園、そして春に誕生した星ヶ丘テラス等の恵まれた立地の中に私共の自動車学校はあります。素晴らしい環境の中で働けるこのような栄誉ある賞を戴いた事は最高の幸せと心から感謝申し上げます。

##### ◆(株)星ヶ丘モーターサービス 目崎 英明様

本日は栄誉ある賞を有難うございます。

先程、阿部が申しましたように星ヶ丘は益々楽しく明るい街に変わりました。私共の職場もオーナーの温かいお心で新しく働きやすい工場を作って頂きました。

三越へのお買い物の途中でも、車検・点検、日曜祭日もしておりますのでお気軽にお立ち寄り下さい。

◆ニコボックスは次回掲載と致します。

次回例会

平成15年11月11日(火)

卓話 “陶あれこれ”

会員 神崎 住恵さん